



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 10

令和6年 9月 17日

TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す

〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

6年生修学旅行で急成長！安全に、健康で、人との関わりを深める目標達成！ パラリンピックから人の強さを考える！「あめしろやっつけ隊」活躍！ プール授業へのご協力、ありがとうございました！

11日から函館へ修学旅行に出かけました。班ごとに計画を立て路面電車や地図を使ってグループ研修、函館山の夜景見学、五稜郭、金森倉庫群、朝市での昼食など社会勉強をしてきました。小さなトラブルはありましたが、そこから学び成長につなげるたくましさがあり、引率していて頼もしかったです。第五小学校という枠から社会という大きな枠の中で勉強する貴重な機会となりました。



パラリンピックの活躍から、人の強さについて職員会議で話題にしました。

【職員会議資料パラリンピック水泳競技】

目が覚めてテレビにくぎ付け。最近、年齢のせいかな夜中に目が覚めるので、パラリンピックを見る機会がありました。水泳バタフライ木村選手が金メダルを獲得しました。自己ベストとオリンピック記録での金メダルでした。新聞や各ニュースでも紹介されていましたが木村選手は生まれつき目の病気で2歳で全盲になった選手です。母親の勧めで水泳を始めたそうです。バタフライという泳ぎ方を見たこともないのに美しく力強いフォームでした。どんな力で、どう感じ取ってここまで来たのか気になりました。テレビにも映っていましたが、頼ったのはオリンピックのメダリスト。2大会連続で銅メダルを獲得した星奈津美さん、10年来の友人です。小さな赤ちゃんを抱いて応援していました。出産後、木村選手のために指導し続けたとのこと。見えなくても星さんの腕を触って正しい腕のかき方を学び、水中での姿勢の保ち方をことばにして伝えてもらう日々。それらを受けて地道な基礎練習を続けたそうです。優勝が決まると星さんも泣いて喜んでいました。本人は今回は100点中10点まだまだと話しています。「目標に向かう人は強いなあ。自分には木村選手のような強さはないなあ。自分はこのままでよいのだろうか？強さ、夢、目標、努力、仲間、関わり。」と生き方を考えさせられました。



大量のあめしろが発生し、能代市教育委員会、校務員さんたちが薬品を散布してくれました。玄関前では毎日大量に動いていて、登校する児童たちも気持ち悪がっていました。掃除をしている先生たちに「4年生のあめしろやっつけ隊」が「校長先生、僕たちにも手伝わせてください。」と協力してくれました。ほうきで集めたり、水で流して集めたりしてくれました。毎朝、自然観察する子どもたちですから「蛇が死んでまーす」という登校班からの声にも「校長先生、僕たちも行っていくですか？」と一緒に処理へ向かってくれます。「アオダイショウだ。いやシマヘビだよ。何で死んだんだろう？」勉強と興味とたくましさ兼ね備えながらたくましく成長してほしいと会話を聞きながら思いました。

プール授業へのご協力ありがとうございました。洗濯等でたいへんだったと思いますが、お陰様で子どもたちは楽しく、成長し続けました。できないことに挑戦している姿、できないことができるようになった喜び、頑張った自信が次の目標に向かうエネルギーになるということを目の当たりにできるのが保健体育の教師として最高の瞬間に立ち会えました。ほとんどの中学校ではプール授業を行わなくなっていますので、今のうちに「水の楽しさや危険、泳ぎ方、健康」などについて体験しながら考えてほしいと思っています。

